

■中国：国務院、原子力発電安全計画等を審議

2012年5月31日の国務院常務会議において、民生用核施設に関する総合安全検査結果の報告後、「核安全と放射能汚染防止十二・五計画及び2020年長期目標」が採択された。核施設と核技術利用装置の安全水準を一層高めること、放射能環境安全リスクを低下すること、総合的事故防止・汚染対策・技術進歩・応急処理・安全監督管理の能力を具備すること、核安全と環境安全及び大衆健康を保障すること、原子力発電の安全を世界先進水準に維持すること、核安全と放射能汚染防止水準を全面的に高めて放射環境の品質を良好な状態に維持すること、が目標として掲げられている。常務会議では、「全国民生用核施設総合安全検査状況の報告」と「核安全と放射能汚染防止十二・五計画及び2020年長期目標」を公表、国民から意見聴取することに同意した。